

Westpacーウエストパック銀行、インスピレーションが生まれる場所

オーストラリアの大手銀行Westpac社はオーストラリアの一流企業になるという構想を実現するために目標をいくつか掲げました。それを実現するための主要な目標の1つは、社員に快適なワークスペースを提供することでした。スチールケースのワークスペースに関する専門知識とソリューションのおかげで、同社はシドニーにすばらしいオフィスを建設することに成功しました。



「弊社の新しいワークスペースは、実務作業をサポートするだけでなく、社員が最大限の能力を発揮できるようにインスピレーションを与え続けてくれます。」

Dr. David Morgan (Westpac社CEO)

This is not an office...

Westpac社は、オーストラリア、ニュージーランドおよび太平洋周辺地域における銀行業界の主要企業で、約27,000人の社員がいます。3,000億ドル(2006年9月30日現在)のグローバル資産を保有し、オーストラリア証券取引所(ASX)の時価総額で上位10社にランク付けされています。シドニーのセントラルビジネス地区に11のオフィスを構え、スペースの利用が非効率的で、社内移動やカスタマイズに高額のコストがかさんだため、新たな不動産のソリューションが必要だと考えていました。つまり、オフィスを1箇所に統合して、優れたワークプレイスとすばらしいカスタマーエクスペリエンス(顧客経験価値)を提供できるようにする必要がありました。

Westpac社の目標

2002年末までに、調査グループが2つの不動産ソリューションを提案しました。既存の11オフィスの中の1つはそのまま維持され、それ以外のオフィスはすべて、1つのまったく新しいオフィスに置き換えられるというものです。この新しいオフィスは、建物およびオフィス装備に関して、既存のものをはるかに超えるものであるということが内容でした。

構想を実現し、オーストラリアの一流企業となるために、同社は新しいオフィスに関するいくつかの主要目標を定めました。この計画は、革新的な設計、戦略的なスペースの活用、より優れた、集中的なテクノロジーの利用によるワークプレイス、つまり、チームワークとコミュニケーションを推進し、強化して、優れた才能を持つ人材を惹きつけ、引き止める場所を創造するというものでした。結果的に、新しいスペースは、ブランドイメージを体現し、同社のサービスを印象づける企業としてのポジティブな雰囲気を喚起するものとなりました。

スチールケースとの合同ワークショップの実施

サプライヤーによるさまざまな提案の中で、製品の機能(柔軟性、テクノロジーへのアクセス等)、環境への配慮、優れたデザイン性、そしてカスタマイズ能力により、スチールケースが最も高く評価されました。

2004年10月にサプライヤーとして公認されると、スチールケースのオーストラリア支社は数度にわたりワークショップを開催しました。毎週、Westpac社の社内プロジェクトチームとスチールケースのデザイナーが議論して、オフィス家具の設計や柔軟な環境におけるプロジェクトの契約内容を微調整していきました。また、彼らは、電源やデータのケーブル管理、個人収納ユニット、ベンチのケーブルマネジメントおよびスクリーンなど、オフィス設計にかかわるさまざまな側面について学習を重ねていきました。それまで、Westpac社では、オープンスペースとプライベートオフィスを組み合わせていましたが、社員がアイデアを共有したりするインフォーマルなミーティングスペースやさらには顧客とフォーマルなミーティングもできるようなスペースはありませんでした。



Leap



Emerge



直線にして
20_{km}
分の収納スペースを
節約



デスクスペースを
30%
削減

75%
がミーティ
ングスペース



82%
の社員が
生産性の向上
を証言

90%
の社員がコラボ
レーションの
改善を証言



これは
単なる
オフィスでは
ありません...

外部専門家からのインスピレーション

まず、ヨーロッパおよび米国の主要なグローバルメーカーの視察ツアーを行い、ワークプレイスを設計する上でのサプライヤーの選考を行いました。プロジェクトの設計チーム(DEGW、Geyer Design & Hassell)は、Westpac社と共に詳細な仕様リスト(デザイン、機能、価格、製造能力、環境への配慮等)を作成しました。

スチールケースは、製品デザインとワークプレイスの知識の両方における知名度の高さと専門知識により、Westpac社からのアプローチを受けました。Westpac社は、仕事の仕方、柔軟性およびチームワークというものをまずコンセプトに捉えるという作業に取り組んでいたため、外部専門家によるインスピレーションを受けることが目的でした。調査グループは、スチールケースの本社を訪問し、社長兼CEOのJim Hackettに会う機会を得ました。この会談は、オフィス環境が組織活動に及ぼす強力な役割や、いかにしてスペースが企業目標を達成するための戦略的な資産になりうるかという点にまでおよびました。

新オフィス入居後の調査によれば、**82%**の社員が新しいスペースのおかげで非常に仕事がはかどると思っています。**90%**の社員が新しいスペース設計はチームでの共同作業に役立つと述べました。さらに**83%**の社員が他の事業部とのコラボレーションに役立つという調査結果がえられました。



Moby



IA Bench

